

事前評価個表

整理番号	76
------	----

地域（地区）名	<small>れいほくによど</small> 嶺北仁淀地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	土佐市外9市町村
事業実施期間	H23～H27（5年間）	事業実施主体	森林組合等

事業の概要・目的	<p>当地域の民有林面積は138,106ha、蓄積は53,737千m³であり、国有林を含めると区域面積の90%近くを森林が占めている。</p> <p>森林資源の現況を見ると、戦後営々と続けられてきた造林の推進により、人工林面積は、97,672haで、人工林率は71%であり、8齢級以上のスギ・ヒノキの面積が86,192haを占め、人工林1ha当たりの蓄積量が494m³となるなど優良な人工林が形成されている。また、間伐等の手入れの必要な45年生以下の森林面積は32,659haとなっており、森林の多面的機能を持続的に発揮させるための適切な森林整備を推進することが課題となっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、嶺北仁淀地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p> <p>当地域では、対象市町村が市町村森林整備計画を策定し、豊かな森林資源を活用した地域振興を目指している。また、集約化計画を推進し、森林整備と路網整備を組み合わせた「団地的な間伐」の取組みを進め、高性能林業機械等により生産性を向上させるとともにコストの縮減及び間伐材等の有効利用を推進する。</p> <p>本計画に基づき、森林の配置や齢級構成に応じ整備を行うことにより、間伐材の搬出量の増加及び森林の多面的機能の高度発揮が期待される。</p> <p>これまで、自然環境に配慮した森林整備等を行ってきており、特に自然保護等に関する問題は生じていない。</p> <p>森林と農地が隣接しているため、農林業の振興、農道等の整備、淡水漁業資源の確保において森林整備を中心とした関係部局との連携を図っていく。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,800ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,198,730千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.66 (総便益(B) = 30,495,285千円、総費用(C) = 4,572,265千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：意欲的な事業者による健全な森林づくりなどによって、森林の多面的機能の高度発揮や優良県産材の安定的な生産の面で有効である。</p> <p>森林は多様な機能を有しているが、これらの機能は一度失うと回復には多大な時間が必要となることから、施業の実施時期や現地に応じた森林整備を速やかに行うことが重要となる。</p> <p>この計画は適切な森林整備等を計画しているため、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

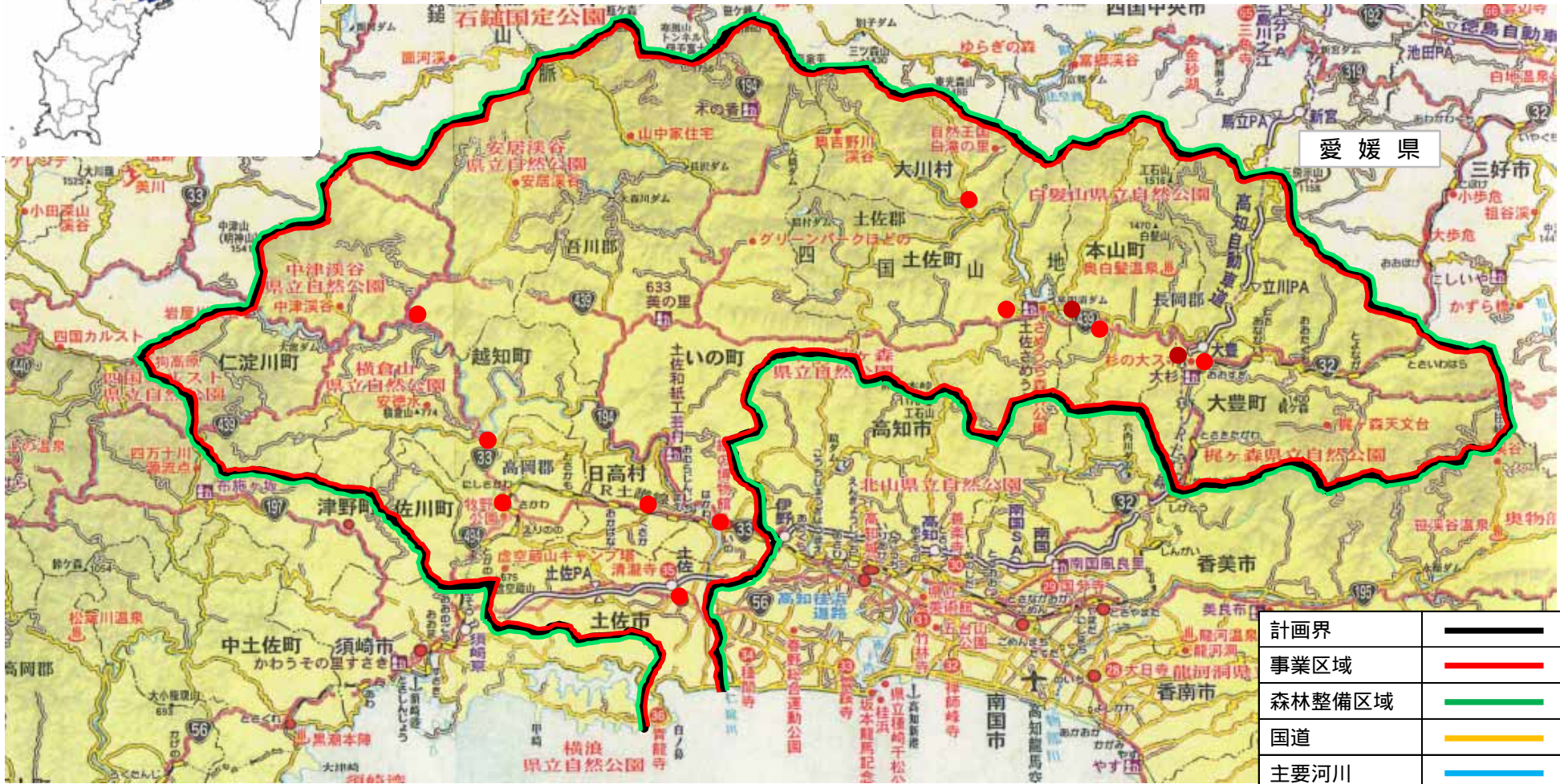
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 嶺北仁淀

高知県
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	11,667,234	
	流域貯水便益	3,954,921	
	水質浄化便益	6,751,826	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,551,830	
	土砂崩壊防止便益	78,638	
環境保全便益	炭素固定便益	1,826,907	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	663,929	
総 便 益 (B)		30,495,285	
総 費 用 (C)		4,572,265	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,495,285}{4,572,265} = 6.66$		

森林環境保全整備事業 嶺北仁淀地域(高知県) 概要図



計画界	——
事業区域	——
森林整備区域	——
国道	——
主要河川	——
市町村役場	
木材市場	